

## 広島市西風館が完成しました。



正面玄関



お別れホール（入場側）



お別れホール（退場側）



待合ロビー



葬儀場2（約100人収容）

### PLAN

- a. 葬儀ロビー
- b. 葬儀場1（50人収容）
- c. 葬儀場2（100人収容）
- d. 遺族控室・聖職者控室
- e. 霊安室
- f. 事務室
- g. 多目的室
- h. お別れホール
- i. お別れ室
- j. 待合ロビー
- k. 待合室
- l. ラウンジ
- m. 売店
- n. 動物お別れ室
- o. 前室
- p. 炉室
- q. 附属舎（外部倉庫）
- r. 外部歩廊
- s. 車いす使用車駐車場
- t. 車寄せ



1F PLAN S=1:1300

写真：(株)ウエドイカメラ、GK-DSH

### CONCEPT

「厳粛さとやさしさを併せ持つ」  
 一凛とした佇まいと心安らぐ空間  
 「緑の景観に溶け込む」  
 一緑豊かなランドスケープとの一体化  
 「時と心の流れを映し出す」  
 一心の移ろいに応じたシーンの演出

広島市郊外に計画された人体炉10基、動物炉1基を備えた火葬場と葬儀場です。工業用途に造成された雑壇状の敷地において、敷地内全般の庭園化・周囲の里山的景観との連続性の回復を意識し、大幅な緑化を図っています。建物は、高さを必要とする火葬炉部分を山裾に沿って配置し、「中庭」を介した囲み型の平屋とすることで、接地性の高い、緑に抱かれた葬送の場の創出を目指しました。玄関や室内各空間から望む「庭」は、「時と心の流れを映し出す」というコンセプトのもと、葬送の場面毎の心情や季節の移ろいを意識した設えとしています。建築意匠は、「厳粛さとやさしさを併せ持つ」という基本方針のもと、恣意的意匠や装飾を排し、儀式空間としての「厳粛さ」・会葬者の心に寄り沿う「優しさ」其々を意識した清楚なデザインを目指しました。

045

### DATA

敷地面積	31,735.58㎡
建築面積	6,649.09㎡
延床面積	7,297.18㎡
建ぺい率	20.96%(許容60%)
容積率	22.55%(許容200%)
構造・規模	RC、一部S造 地上2階、直接基礎
最高高さ	14.10m
軒高	12.84m
階高	火葬棟・葬儀棟1階4.8m 待合棟1階4.6m
天井高さ	2.75m、2.40m
主なスパン	6.4m×8.0m 6.4m×6.4m
設計期間	2007.11～2009.02
工事期間	2010.01～2011.01

### TOPICS

#### 葬送の個別化に配慮した「お別れ室」

各葬家ごとに個別で親密な儀式進行が行えるよう、炉前を「お別れ室」として1室/2炉に区分けし、告別及び収骨の儀式を行う計画としています。炉口には可動の壁を設け、隣りの火葬炉が意識されないよう配慮しています。



お別れ室

▶ <http://www.nissoken.co.jp>